

静岡市立清沢小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年7月1日(木)

「縄文人や弥生人の生活が少し身近に感じられて楽しかった。」



静岡市の中山間地に位置する児童2人の小規模な学校で、以前にも出前授業で訪問させていただきました。今回は、1時間の中で、土器の分類と火起こしの2つの体験を行う計画を立てました。

土器が何のために作られ、時代によって違いがあることも理解することができ、より歴史に対する興味が増し、有意義な時間になったようです。

◎土器の分類体験

静岡県内で出土した完成土器を手に取りながら、縄文・弥生・古墳時代のそ

れぞれの土器の違いについて、理解を深めることができました。重さや質感、厚さ、模様の違いなどをよく観察し、土器片と比べました。土器片の模様や厚さなどの違いをもとに縄文土器と弥生土器を分類していました。細かな色の違いを区別して、弥生土器と須恵器を分類することができました。



◎火起こし体験

小雨が降るあいにくの天候でしたが、渡り廊下で火起こし体験を行なうことができました。もみきり式や弓きり式などの火起こし方法を教えてもらい、舞いきり式を体験しました。弾み車を回すのに苦労しましたが、慣れてくると弾み車をリズムよく回すことができるようになり、火種を作ることができました。雨天での火起こし体験は、湿気があり火種を作っても火口にのせた火種を火にすることがなかなか難しいことがわかり、体験を通して火の大切さを感じることができました。

